**片山哲　かたやま・てつ**



**生：1887年7月28日**

**没：1978年5月30日**

社会運動家、政治家。和歌山県出身。東京帝国大学卒業後、弁護士を開業。1926年社会民衆党結成に際し書記長に就任。1930年衆議院議員に当選。1932年社会大衆党中央執行委員となるが、1940年反軍演説を行った斎藤隆夫の除名を可決した衆議院本会議に欠席したことで、党を除名された。

戦後の1945年11月の日本社会党結成で書記長に就任、翌年9月中央執行委員長。1947年4月の総選挙で同党が第一党になると、翌月首相に就任し連立内閣を組織。内務省の解体など官僚制度の改革を行ったが、社会党左派の反発で翌年2月に総辞職。1951年社会党最高顧問、1954年憲法擁護国民連合議長、1960年民主社会党最高顧問、1961年憲法擁護新国民会議議長。1963年総選挙に落選して政界を引退。

写真は『画報近代百年史.第18集』 国際文化情報社 (1952)より

出典：<https://www.ndl.go.jp/constitution/etc/jinbutsu.html>